

議会だより



「すかがわの魅力再発見」

仁井田神社秋季例大祭

毎年10月1日に行われていた秋季例大祭。令和6年度から10月第一土曜日に開催されており、翌日の日曜日には奉納相撲が行われています。

もくじ



須賀川市は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【正副議長あいさつ・監査委員紹介】…………… 2

【委員会活動報告】…………… 3～4

【一般質問】9月定例会…………… 5～7

【決算審査】令和6年度決算…………… 8～9

【審議結果】9月定例会…………… 10

【議案審査】令和7年度補正予算・【トピックス】…………… 11

【12月定例会のお知らせ・編集後記】…… 12

9月臨時会にて

議長・副議長が決定

9月5日開催の令和7年第1回臨時会において、本会議中に選挙を行い、議長に佐藤瞭二議員、副議長に大河内和彦議員が当選しましたのでご紹介いたします。

議長就任あいさつ



須賀川市議会議長
佐藤 瞭二

このたび第30代議長に就任いたしました、佐藤瞭二です。引き続き議長を務めますことは誠に光栄なことであり、その職責の重さに改めて身の引き締まる思いです。市民が安心して暮らせる地域社会の実現に向け、市当局と対等な立場で意見を述べ、議会運営を行ってまいります。

議会は、市の政策を最終決定する「議事機関」であ

り、形成過程に多面的に参画し、重要な意思決定を行う役割を持ちます。

また、市の財政運営や事務処理を監視する機能も果たす必要があります。この二つの役割を確実に遂行することが、議長の使命だと考えています。

任期中に取り組むべき、大きな課題として、市の財政健全化への責任ある対応が挙げられます。

行財政改革取組方針に基づき、令和9年度までの「集中改革プラン」や、今年5月に示された「公共施設マネジメント」に係る素案について議論を重ね、議会としての姿勢や考えを示す重要性を強く感じています。公共施設の整理による

費用削減案に対しては、市民目線で慎重に検討し、市民の声と将来を見据えた運営のバランスを考えながら、方向性を決めていく必要があると考えます。

他に、議員定数の議論もあります。議員のなり手不足や投票率低下、人口減少を踏まえ、様々な観点から調査・議論を進め、結論を導き出したいと考えます。

議会は、市民に対し、二元代表制の一翼を担っていることを再認識し、是々非々の立場で民意をくみ取るべきと考えています。市民に対し誠実に取り組んでいくことで、調和のとれた議会運営を目指してまいります。

副議長就任あいさつ



須賀川市議会副議長
大河内 和彦

このたび副議長に就任いたしました大河内和彦です。議長を支えスムーズな議会運営になるよう心掛け、市民の皆様が安全に安心して暮らすことができますよう務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

現在、行財政改革取組方針に基づく「集中改革プラン」計画期間中です。市民の皆様から寄せられた様々

な意見を当局に伝え、議員間で情報を共有し議論を深め、より良い方向性を導き出していかなくてはならないと思います。

また、コロナ禍を経て地域コミュニティの希薄化がより進んでしまったと感じています。地域住民が主体となつて地域課題の解決に取り組む「地域づくり活動」の拠点であるコミュニティセンターを核としたコミュニティの活性化も重要な課題として取り組む必要性が高いと捉えています。

市民の皆様の声を市政に反映できるよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

監査委員に鈴木正勝議員



監査委員
鈴木 正勝

市議会から選出する監査委員として、鈴木正勝議員を選任することについて、議会で同意しました。任期は令和7年9月19日から令和9年9月3日までです。

鈴木正勝議員の略歴

昭和27年生まれ。平成11年4月に須賀川市議会議員に当選し、議員歴は7期目に当たる。住所は市内新町。

この間、須賀川市議会副議長、建設水道常任委員会委員長、教育福祉常任委員会委員長、議会基本条例検討特別委員会委員長などを歴任。

総務常任委員会

本委員会は、9月の臨時会で新たな構成となり、9月定例会において、継続調査事件として2件の項目について取り組むこととしました。概要は次のとおりです。

公共交通対策について

このテーマについては、令和3年6月18日開催の本委員会において、「各種計画の策定」をはじめ4項目を市当局に対して提言したところですが、その後、市では令和6年3月に「地域公共交通計画」が策定され、今年度からはオンデマンド交通「ちよこすか」も本格運行を開始するなど、新しい取り組みも始まっています。公共交通のニーズは、社会経済情勢等の影響により日々変化していることから、これらを踏まえ、現在の状況に即した、持続可能な公共交通の在り方や、市民の求めるサービスの実態について、改めて調査を進めていきます。

地域おこし協力隊の

積極的な活用について

地域活性化及び制度の活用促進の観点から、本市の現状や将来課題を

踏まえ、地域おこし協力隊に期待される役割や活動分野、更には、隊員に対する活動・定着支援など、組織的なサポート体制について、類似する地域の成功事例を参考にしながら調査を進めていきます。

委員長	大柿 貞夫
副委員長	斉藤 秀幸
委員	安藤 正博
	松川 勇治
	溝井 光夫
	佐藤 瞭二
	市村 喜雄
	大内 康司



経済建設常任委員会

本委員会は、9月の臨時会で新たな構成となり、9月定例会において、継続調査事件として3件の項目について取り組むこととしました。概要は次のとおりです。

「農」を支える人づくりと

仕組みづくりの現状と

今後について

本市の基幹産業である農業について、新規就農者や担い手の確保に向けた支援などの人づくりと、経営の効率化や販売経路の確保などの仕組みづくりについて、調査を進めていきます。

須賀川駅周辺の整備と

活用について

須賀川駅については、令和7年1月から供用が開始されましたが、駅周辺は交通の要所であり、通勤、通学者だけでなく観光客や地域住民にも大きな影響を与えることから、その整備や活用について、調査を進めていきます。

上下水道事業経営の

基盤強化について

上下水道事業については、施設の多くが建設から数十年が経過し、設

備の老朽化が進行しており、適切な維持管理や更新計画の推進が不可欠であります。また、少子高齢化による人口減少が上下水道事業の収入にも大きな影響を及ぼしていることから、持続可能な事業経営について、調査を進めていきます。

委員長	石堂 正章
副委員長	古川 達也
委員	関根 篤志
	深谷 政憲
	横田 洋子
	本田 勝善
	五十嵐 伸
	鈴木 正勝



文教福祉常任委員会

本委員会は、9月の臨時会で新たな構成となり、9月定例会において、継続調査事件として「公共施設マネジメントについて」を調査することとしました。概要は次のとおりです。

公共施設マネジメントについて

本市では、令和6年4月に策定した「市行財政改革取組方針」に基づき、令和7年度から9年度までの3年間を集中改革期間とする「集中改革プラン」を実施し、行財政全般について見直しを図っております。その取組事項のひとつとして「公共施設マネジメントの推進」が挙げられています。

令和7年6月に開催した市議会議員全員協議会において、一部公共施設の開館時間の短縮や休館日の追加、また、市公共施設等個別施設計画における再編時期の前倒しによる施設の統廃合などの素案が示されました。

公共施設の適正な配置や見直しは、市民サービスの維持・向上に直結する重要な課題です。人口減少や厳しい財政状況、施設の老朽化及び維持管理の課題が進む現状を踏まえ、効率的かつ効果的な施設整備の

委員会活動報告

在り方を考えていく必要があります。

調査に当たり、対象施設の現状把握をはじめ、民間活力の導入可能性や民間運営の先行事例、さらに学校統廃合後の施設等の利活用手法などについて調査を進めてまいります。



委員長	熊谷 勝幸
副委員長	柏村 修吾
委員	深谷 勝仁
	堂脇 明奈
	浜尾 一美
	小野 裕史
	鈴木 洋二
	大河内和彦

議会運営委員会

本委員会は、9月の臨時会で新たな構成となり、市民の皆様により分かりやすく身近な議会となるよう、議会審議の活性化や議会活動の透明性を高めるとともに、議会運営のデジタル化、効率化などを進めながら質の高い議会となるべく議論を深め、議会改革や円滑な運営に取り組んでいきます。

主な今後の活動について

- 議会の運営に関する事項
 - 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
 - 議長との諮問に関する事項（長期欠席等した議員の議員報酬等の取扱いについて）
 - 災害発生時における対応など
- 以上の項目について「市民に開かれた議会運営」を目指し深く議論を重ね、積極的に調査研究を行っていきます。

委員長	溝井 光夫
副委員長	関根 篤志
委員	深谷 勝仁
	斉藤 秀幸
	熊谷 勝幸
	石堂 正章
	五十嵐 伸
	鈴木 正勝



ギカイのギモン



「委員会」とは？

議会の中で話し合う内容を分けて、詳しく調査したり意見をまとめたりするグループのことです。

議員が分野ごとに分かれて、たとえば「教育」「建設」などのテーマについて話し合います。全員で一度に話すよりも、少人数で詳しく調査を行うことで、より良い意見や決定につなげることができます。

委員会でもまとめた内容は、議員全員が集まる本会議で最終的に決定します。



9月定例会

一般質問

13人の議員が一般質問を行いました

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、市政全般について市長などの方針を問うものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁が要約してありますが、QRコードをスマートフォン等で読み取ると、全体の録画映像を見ることができます。

質問項目

- ①災害福祉支援体制の機能強化について
- ②自主防災組織訓練マニュアルの作成について
- ③災害時のドローンによる物資輸送協定について
- ④防災士について
- ⑤ICTを活用した登下校見守りシステムの整備について



本田 勝善

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

自治体は地域防災計画、地域福祉計画、高齢者施策を見直し、平時も災害時も高齢者を守り抜き、災害関連死ゼロを目指すため、大規模災害時に高齢者や障がい者などへの支援体制の取り組みについて伺う。

質問項目

- ①消防設備について
- ②地域コミュニティの支援について



溝井 光夫

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

ステンレス製地上式防火水槽の検討を提言。

防災活動や健康づくり、ごみ出し支援など地域の裁量で使用できる補助メニューについては、地域ニーズや先進事例などを参考に、導入可否も含め検討との答弁でした。



質問項目

- ①平和行政と学校における平和学習について
- ②特別な支援を要する子どもたちの教育と福祉について
- ③外国からの移住労働者について



堂脇 明奈

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

戦後・被爆80年の節目の年。平和と多様性について質問しました。

平和を問い続け、支援を要する子どもたちや外国移住労働者など、多様性を認め合い誰もが住みやすい地域社会をつくっていくことを求めました。

質問項目

- ①避難所の運営について
- ②須賀川特撮アーカイブセンターについて
- ③公共施設マネジメントの推進について



石堂 正章

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

今回の一般質問は、【市民サービスの更なる進捗】を目指すために、【避難所の運営】の現状と支援体制の構築、【須賀川特撮アーカイブセンター】における現況と今後の展開、【公共施設マネジメントの推進】に関する今後の展開の3点を質しました。

質問項目

- ①公共施設の再編について
- ②移住定住について



浜尾 一美
動画はこちら▶



▼ここがポイント！

公共施設を再編していく上で、なぜこの施設が対象となったのか、理由と今後の方向性についての考えは！

当市の移住定住政策の今後の方針について、どのようにしていくのか！

質問項目

- ①市の財政状況について
- ②須賀川駅周辺整備について



深谷 勝仁
動画はこちら▶



▼ここがポイント！

財政状況については、行財政改革を将来世代に責任を果たす改革へと結実するよう、財政の「見える化」と市民への丁寧な説明を求めました。

須賀川駅西口整備について、ホテルや飲食店等の民間事業者参入を促進し、東西の商業・居住のバランスを整えた複合的なまちづくりの推進を訴えました。

質問項目

- ①本市の熱中症対策について
- ②ペット同伴避難所について



▼ここがポイント！

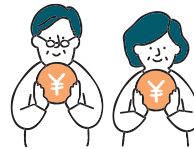
災害時に市民の避難所ともなる学校体育館へのエアコン設置について、国の臨時特例交付金の活用を訴えたところ、当局からは、「今後、整備計画の策定を進め、交付金の活用を検討する」と前向きな答弁を引き出しました。

関根 篤志
動画はこちら▶



質問項目

- ①財政健全化に向けた取り組み状況について



小野 裕史
動画はこちら▶



▼ここがポイント！

今回は、当市の財政状況の現状を確認するとともに、市民生活に対する影響について質した。

また、集中改革プランにおける税外収入に関して、特にネーミングライツについて現状の取り組み状況及び候補となる施設等を質した。

質問項目

- ①長沼小中一貫校校舎施設整備について
- ②みどりの食料システム戦略について
- ③地域おこし協力隊について



▼ここがポイント！

長沼小中学校統廃合について、対象保護者及び地域住民に十分な説明がなされていないため質問しました。また「みどりの食料システム戦略^{※1}」や「地域おこし協力隊^{※2}」の積極的な活用について提言しました。

※1 食料の生産から消費までの環境負荷を減らし、食料の安定供給と農林水産業の持続的な発展を目指すための戦略。

※2 都市の住民が地方へ移住し、地域協力活動を通して地方への定住・移住を図る取組。

松川 勇治
動画はこちら▶



質問項目

- ①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について
- ②戸籍法改正によるフリガナ記載における、現在の取り組み状況と今後の取り組みについて



鈴木 正勝
動画はこちら▶

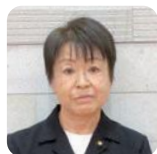


▼ここがポイント！

今年度の、市の物価高騰対策について、実施したもの、実施中のもの、これから実施を予定しているものの留意点などについて確認し、今後の取り組みへの考え方とさらなる交付金の活用を提言しました。

質問項目

- ①身寄りのないなどの高齢者を支える包括支援について
- ②卸町周辺の浸水対策について
- ③行財政改革取組方針について



横田 洋子

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

公共施設の管理・運営に「質の高い住民サービス」の提供を理由としたコンセッション方式※の導入を進めようとしています。この手法の必要性や根拠、対象施設を質しました。地域経済の好循環の対局にあるため導入に反対です。

※公共施設の運営権を民間企業に一定期間貸し出す制度。

質問項目

- ①市民温泉について
- ②文化財について
- ③須賀川駅東口の利用構想について



安藤 正博

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

市民温泉はたくさんの市民から親しまれている施設です。機能廃止すべきではないと思い質問しました。

文化財の管理、無形民俗文化財の継承について質しました。

旧駅舎 JR 駅事務所跡について提言しました。

議会を傍聴しませんか？

本会議や委員会は、住所・氏名を記入するだけでどなたでも傍聴ができます。サークルやクラブ等、団体での傍聴も可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。また、本会議の様様をインターネットで配信しています。

ネット配信はこちら！



ライブ中継



録画配信



車いす使用者用スペース

3台停められます



みんなの傍聴室

防音室でお子様連れの方でも安心です



委員会室

委員会の傍聴席は8席です

質問項目

- ①学校教育における環境変化に伴う安全対策について
- ②市内公立学校体育館等への今後の環境整備について
- ③長沼地域の小中学校統合に伴う校舎等の整備計画について



柏村 修吾

動画はこちら▶



▼ここがポイント！

- ・地球規模で進行する環境変化に対応した学校教育・子育てに関する環境整備（安全対策等）について
- ・体育館へのエアコン設置



はじめて傍聴される方へ

傍聴までの流れ

- 1 傍聴受付簿を取り、住所、氏名等を記入する。
- 2 1で記入したものを投入箱へ入れ、本日の資料を取る。
- 3 傍聴席の空いている席へ座り、傍聴する。（途中で入退場は自由です。）

議場内での主なルール

- 傍聴の際は、着席してください。
- 飲食や帽子の着用はお控え願います。
- 携帯電話等は音が出ないようにしてください。
- 雑談、拍手、ヤジなどの音を立てる行為、喫煙は禁止です。
- 写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。



傍聴案内



傍聴室入口



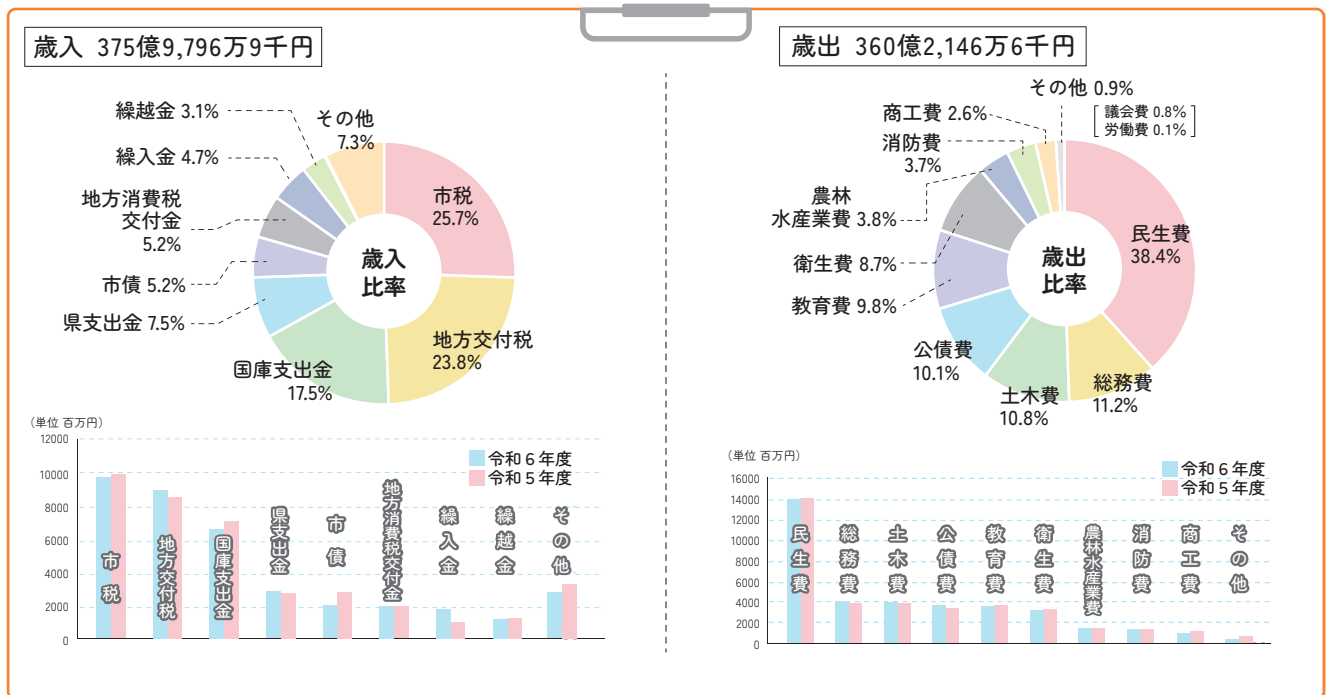
令和6年度決算を認定



一般会計 歳入 ▶▶▶ 375億9,796万9千円
一般会計 歳出 ▶▶▶ 360億2,146万6千円

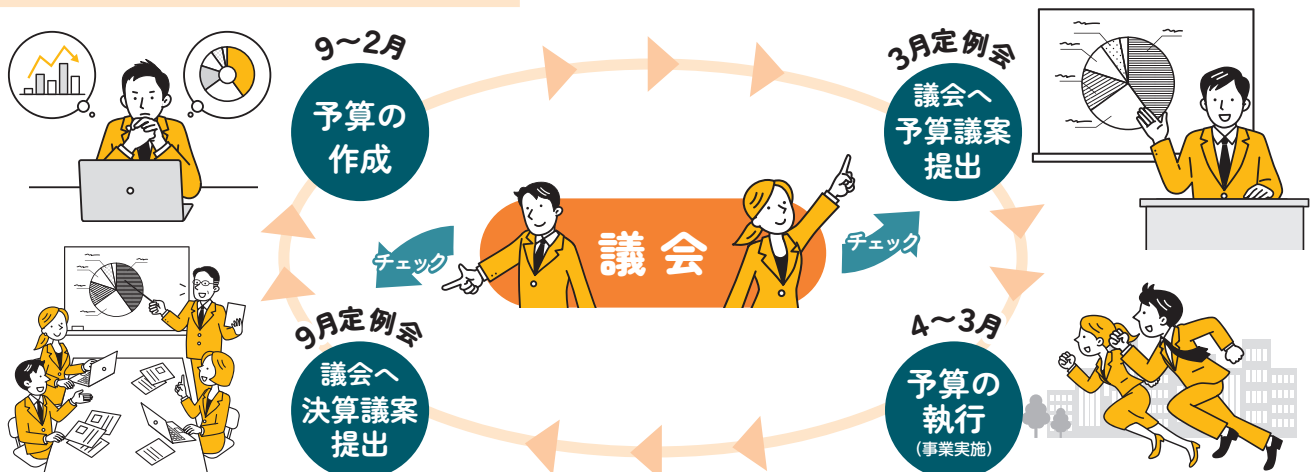
決算特別委員会は、10月10日、14日及び15日に行われ、令和6年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査を行いました。

審査では、当初予算額及び昨年度決算との比較や、財源の状況、費用対効果の確認、決算を踏まえての今後の課題とその対応策など、様々な観点から質疑が行われ、その結果、全会一致で認定されました。



審議結果

議会と予算・決算の流れ





決算審査にて行われた 質疑・答弁の内容を一部ご紹介します

※紙面の都合上要約しています。



教育費

研修バス活用事業【教育総務課】

Q 研修バスの運行回数と、令和5年度と比較して予算が減額していることに伴い、その分の代替としてどのような取組を行っているのか伺う。

A 運行回数は、所有している2台の合計で377回である。また、運行回数が少なくなった分、ビデオ視聴や、児童・生徒に1人1台配布されているタブレットを利用したオンライン見学等を実施しており、今後も活用していきたい。

スポーツ振興イメージアップ事業

【生涯学習スポーツ課】

Q 円谷幸吉メモリアルマラソンについて、参加者数と、令和6年度にハーフマラソンを実施しなかった経緯を伺う。

A 参加者数については、令和5年度が1,738人、令和6年度が1,663人である。
ハーフマラソンに関しては、安全対策面について警察署から指導があったが、費用や配置等の対応が困難であり実施を見送った。今年度については、安全対策が整ったため開催する。

民生費

障がい者福祉サービス給付等事業【社会福祉課】

Q 事業費について、令和6年度中に補正予算で約7億円増額しているが、その要因を伺う。

A 前年度の利用実績等を踏まえ当初予算を計上していたが、施設の充実やサービス受給者の増加が要因である。特に就労継続支援と児童通所支援について大幅な増加があった。

農林水産業費

地域計画作成事業【農政課】

Q 事業内容と成果について伺う。

A 集落地域が抱える、人と農地の問題を解決するための計画であり、昨年度は69地区で策定した。本市では行政区単位で説明会を開催して策定しており、アンケート調査等の結果を、図面や地域の未来像に反映させている。

総務費

生活バス路線維持対策事業【企画政策課】

Q 対象の路線数と、前年度と比較した利用者数を伺う。

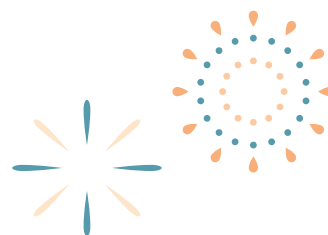
A 対象は、市内のみの単独路線が11路線、他の市町村をまたいでいる路線が6路線である。
利用者数は、令和6年度に対象が1路線増えているため令和5年度と比較すると増加しているが、その路線を除くと約4,200人の減となる。

商工費

釈迦堂川花火大会補助事業【観光交流課】

Q 令和6年度における有料観覧席の売上金額と販売状況を伺う。

A 売上金額は、テーブル席が約2,033万円、イス席が約703万円である。
テーブル席は準備した1099席が完売となった。



土木費

市道維持管理事業【道路河川課】

Q 街路樹維持管理業務委託料と路面清掃業務委託料の委託内容と、今後の管理についての検討状況を伺う。

A 街路樹維持管理業務委託については、植樹帯の管理、樹木の選定、除草等であり、10件程度発注を行った。路面清掃業務委託については、幹線道路の路肩等の堆積土砂の除去で、路面清掃車を使用するものである。
今後については、周辺の樹木の状況等を踏まえながら、維持管理費の削減を検討していきたい。



／なにが決まった？／



9 月定例会の審議結果



結果の表示記号

◎ 全会一致で可決、認定、同意、了承等

議案等番号	件 名	結果
議 案	57 人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	◎
	58 須賀川市市営墓地条例の一部を改正する条例	◎
	59 市道路線の認定及び廃止について	◎
	60 令和7年度須賀川市一般会計補正予算（第3号）	◎
	61 令和7年度須賀川市市営墓地事業特別会計補正予算（第1号）	◎
	62 令和7年度須賀川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎
	63 令和7年度須賀川市水道事業会計補正予算（第1号）	◎
	64 令和6年度須賀川市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
	65 令和6年度須賀川市水道事業会計決算の認定について	◎
	66 令和6年度須賀川市下水道事業会計決算の認定について	◎
報 告	67 訴えの提起について	◎
	68 監査委員の選任につき同意を求めることについて	◎
請 願	17 令和6年度須賀川市健全化判断比率及び資金不足比率について	◎
	6 犬猫の繁殖防止のための「不妊去勢手術助成金制度」の創設を求める請願書	継続 審査



「継続審査」 とは？

本会議に提出された案件について、会期中に結論が出なかった場合、閉会中や次の定例会でも審査することをいいます。審査を付託された委員会の委員長が、本会議中に「閉会中の継続調査事件の申出」を行い、議会で認められれば継続審査が可能となります。



9月定例会 令和7年度9月補正予算

一般会計補正予算に2億7,266万9千円を追加



Pick up!!

質疑・答弁の一部紹介

※紙面の都合上要約しています。

10月9日に予算常任委員会が開かれ、4件の補正予算議案について慎重な審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

総務費

ふるさと納税推進事業【企画政策課】

Q 今回の補正予算での増額理由を伺う。

A 当初、寄附金額を9,800万円で見込んでいたが、件数、額ともに大きく伸びているため、見込額を1億5,000万円に変更したことに伴う委託料の増加である。

衛生費

成人予防接種推進事業【健康づくり課】

Q 新型コロナワクチンと带状疱疹ワクチンの本事業における対象者と、自己負担額を伺う。

A 対象者はどちらも65歳以上である。自己負担額は新型コロナワクチンが4,600円、带状疱疹ワクチンは生ワクチンが4,200円、不活化ワクチンは2回接種の合計で22,000円である。

民生費

児童クラブ館管理運営事業【こども課】

Q 仁井田児童クラブ館の引越し作業について、休館日は日曜のみだが、どのように作業する予定なのか。また、引越しの業務委託について内容を伺う。

A 工事終了後、春休み中の土曜日を休館にし、土日で作業する予定である。また、大型のコピー機や冷蔵庫等の引越し作業を委託し、机やイス等については職員で作業する予定である。

消防費

消防団管理運営事業、消防施設等整備事業

【市民安全課】

Q それぞれの事業概要について伺う。

A 企業版ふるさと納税による寄附に伴い、消防団管理運営事業では消防団の消耗品購入や設備等の充実を図り、消防施設等整備事業ではホース乾燥塔の新設と修繕を行う予定である。



9月定例会における 主な一般会計 補正予算内容

・成人予防接種推進事業	6,000万円
・須賀川地方広域消防組合分担金	4,242万9千円
・普通交付税あん分負担金公立岩瀬病院企業団構成町村分	4,176万1千円
・長沼小中一貫校整備事業	3,138万6千円
・ふるさと納税推進事業	2,700万円
・児童クラブ館管理運営事業	2,440万円

一部事務組合議会議員を紹介します

複数の市町村などが、事務の一部を共同で行うことを目的として設置する組織を「一部事務組合」といいます。構成市町村から決まった人数の議員が選出されており、今回、以下の組合については次の議員が選出されました。

団 体 名（構成市町村）	選出人数	選出議員
須賀川地方保健環境組合 須賀川市・鏡石町・天栄村	9人	松川 勇治 熊谷 勝幸 鈴木 洋二 大柿 貞夫 大河内和彦 横田 洋子 本田 勝善 五十嵐 伸 市村 喜雄
須賀川地方広域消防組合 須賀川市・鏡石町・天栄村・石川町・ 玉川村・平田村・浅川町・古殿町	6人	深谷 勝仁 関根 篤志 浜尾 一美 小野 裕史 溝井 光夫 石堂 正章

